

森のニュース 2

～平成24年度森林・林業施策と予算について～

平成24年度森林・林業施策・予算についてご紹介します。

1 「かながわランドデザイン」における林業再生

黒岩知事の下「いのち輝くマグネット神奈川」の実現のための総合計画として、24年3月に「かながわランドデザイン」が策定されました。このランドデザインの「プロジェクト26 神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開」において「県産木材の有効活用の促進」として、「森林の持つ多様な機能を維持していくために、林業を再生して、森林整備により発生する間伐材を搬出し、林道から200m以内の木材資源を循環活用するゾーンの森林資源を最大限活用することを目指して、段階的に木材生産量(スギ・ヒノキ)を増やしていくこととし、2014年には30,000立米まで増やすことを目標としています。」とした林業再生の取り組みが位置づけられました。

2 神奈川の林業再生の取り組み

(1) 緑の祭典「かながわ未来の森づくり2012」

第61回全国植樹祭を通じて、広く県の内外にアピールした「かながわ森林再生50年構想」の実現に向け、県民との協働により森林づくりを推進していくための象徴的なイベントとして、緑の祭典「かながわ未来の森づくり2012」が、本年5月27日に、神奈川県、南足柄市、(公財)かながわトラストみどり財団の3者主催により

実施されました。当日は、全国植樹祭のお手植え会場(南足柄会場)跡地で、事前公募した参加者400名に植樹をしていただいた後、南足柄市の華綾幼稚園によるこども太鼓、記念式典では、記念植樹、トラストみどり財団による功労者表彰があり、白井貴子さんと緑の少年団の合唱などミニライブがありました。午後には大雄山や全国植樹祭植樹地を巡る水源林探訪会を行いました。この他、会場でのブース出店として、森林50年構想や、水源施策などの県の取り組みの紹介を行いました。



植栽風景

(2) 神奈川の林業再生の取り組みと平成24年度予算

「かながわ森林再生50年構想」を構成する主な施策として、平成24年度より「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」が開始され、引き続き、地域水源林整備事業、間伐材搬出促進事業を進めるとともに、水源の森林づくり事業においては森林組合等が施業集約化のための施業代行を行う「長期受委託制度」が実施されることになりました。また、同じく「第2期丹沢大山自然再生計画」が開始され、丹沢大山の中高標高域においてシカ捕獲強化や、土壌流出防止対策の対象地域拡大が進められます。

また、前項のランドデザインに「神奈川の林業再生」が位置づけられたように、森林資源の循環利用による持続的な人工林の再生を目指して、これまで進めてきた県産木材活用総合対策を再構築し、新たに林業再生総合対策を推進いたします。

主な内容として、地域の行政や林業関係者の連携協力の下、施業集約化、施業の効率化、人材育成等を進め、林業の体質強化を図ります。また、加工流通体制の整備、公共木造施設等への支援に引き続き取り組むとともに、新たに、品質認証した県産木材を使用した住宅への支援など、川上から川下までの総合的な対策の充実強化を進めてまいります。

なお、平成24年度の森林・林業関係当初予算としては、一般会計約48億円(対前年比114.2%)、特別会計約18億8千万円(対前年比90.1%)となっております。

(3) 地域森林計画と市町村森林整備計画の樹立

昨年度の森林法改正への対応も含めた地域森林計画と市町村森林整備計画の樹立が平成24年度中に進められます。今回改正の特徴として、市町村森林整備計画のマスタープラン化とともに、新設された制度の多くが市町村の事務・権限となっています。今後のスケジュールとしては、年内に県で地域森林計画を策定し、並行して来年3月までに、市町村森林整備計画が樹立・公表される予定となっています。

(環境農政局水・緑部森林再生課調整グループ)